

お土産文化

CIP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田サミュエル卓也 (サム)

幼い頃から日本のお土産の文化にはある程度慣れていました。だから、日本に引っ越してきた当初は、お世話になっている人達やこれから一緒に働く人にはニュージーランドのお土産を渡そうと思いました。キーホルダー、ニュージーランドのチョコレート、はちみつ、ハンドクリームなどを用意しました。

今月、日本に引っ越してから初めてニュージーランドに一時帰国します。最近、家族や友だちにどんなお土産を買ってあげるか、また戻って来る時に日本にいる友だちや同僚にどんなニュージーランドのお土産を渡そうかと考えています。そこで今回のニュースレターでは、日本とニュージーランドのお土産文化の違いについて話したいと思います。



1年半以上ここで働いて、日本のお土産文化がより理解できるようになりました。多くのお土産をもらいましたが、ほとんどが食べ物でした。ニュージーランドでは、置物やキーホルダー、マグネットなど、旅先の国の文化にちなんだものをあげるのが一般的です。一方、日本では国内旅行が多く、各都道府県によって特産品もあるので、地域の名物をあげるのが一般的なのかなと思いました。ニュージーランドでは場所によってそんなに変わらないし、国内旅行もそれほど旅行としてカウントされないです。また、同僚にお土産を買うこともあまりないです。

最近、読んだ記事で欧米の方にとって、お土産は身近な人のために買いますが、日本では家族や友達だけでなく、日常的に関わる人（同僚、近所など）のためにも渡す必要があると思っている人が沢山いると知りました。それで、お土産を配る人数がかなり増えるので、クッキーや煎餅などが安くて渡しやすいです。ニュージーランドでは、休暇を取るのは当然なことで、一生懸命働いたので、ゆっくり休んで帰ったら、みんなと旅行の話をするぐらいという考え方があります。日本では、おみやげを配ることは、自分が不在の間カバーしてくれた人たちに敬意を表し、旅行の喜びを少しシェアする意味もあると書いてありました。



日本ではお土産に食べ物を買う人の方が多いとはいえ、ニュージーランドでも手に入らない日本の季節限定のキットカット、うまい棒、抹茶味のお菓子、和菓子、煎餅など食べ物をお土産に買う人もいます。他にも、人気なお土産は、名前を彫刻した箸、日本の化粧品（特にマスカラ）、包丁、足袋、文房具（無印良品が人気）、お守りなどです。



また、ニュージーランドはオゾン層に穴が開いているので、日焼けしやすいです。日本の日焼け止めはニュージーランドより倍ぐらい安く、質がいいので、いいお土産になります。家族に頼まれたお土産は、ガンダム、柿の種、ポケモングッズやぬいぐるみ、日本の化粧品やスキンケア、ふりかけ、ダイソーのヘアアクセサリーなどです。ニュージーランドではふりかけを買おうとしたら、約450円もします。友だちは食べたいのになかなか買う気にならないらしいです。



ガンダム以外、ほとんどのものが安いので、お土産としてたくさんまとめ買いするのも簡単です。久しぶりにニュージーランドに帰るので、お土産の値段や物価の状況が気になっています。もしかして逆カルチャーショックがあるかもしれないので、日本に帰ったら、ニュージーランドへの旅について、またお土産についてお話しするのを楽しみにしています。

FacebookやInstagramで香取市での生活や観光、ニュージーランドの文化など英語と日本語で発信しています。見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非Facebook・Instagram・3階の商工観光課にてお声掛けください。





ソムタム
(パパイヤサラダ)

タイのこと…聞いてみタイ?



タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)

2024年
5月号

愛をこめて花束を

このニュースレターを書いた日の朝に、母の日に向けて千葉県芝山町で紫色のカーネーション「ムーンダスト」の出荷作業が行われているニュースを見ました。カーネーションは赤やピンク、白などが一般で、紫色のカーネーションは自然界に元々存在しないものだそうです。なるほどと思いながら、5月に母の日?とふとびっくりしました。日本を含め、アメリカ、台湾、ニュージーランドなど多くの国の母の日は5月第2の日曜日ですが、タイの母の日は8月12日です。

日本では母の日にカーネーションを母へ贈る習慣があります。赤いカーネーションは「母への愛」、ピンクカーネーションは「感謝」、ニュースになった青紫のムーンダストは「永遠の幸福(しあわせ)」など、それぞれ意味が込められています。ニュージーランド出身のサム君に聞いたら、ニュージーランドでは特にどの花を贈るかは決まりがなく、人気な花といえば、バラ、チューリップ、蘭、菊などが挙げられます。



出典: www.facebook.com/Gifsforum

ピン付き布で作られた一輪のジャスミン

タイでは、1950年4月15日が初めて母の日として制定されました。そして、1976年に、当時の国王ラーマ9世の王妃「シリキット王妃」の誕生日である8月12日に母の日が変更され、「ジャスミン」を母の日のシンボルとして決定し、今に至ります。タイ王国と呼ばれているように、王室とタイ国民は昔からとても深い関係があります。タイ人にとって国王は国民の父・王妃は国民の母のような存在です。そのため、王妃のお誕生日を母の日にしました。

ジャスミンは色々な品種がありますが、母の日に贈るものは白い八重咲きのジャスミンです。白い花びらは純粋な愛、一年中花が咲くことは子どもへの絶えない愛情という意味が込められているそうです。

8月に入ると多くの学校で安全ピンが付いた布で作られた一輪の(アーティフィシャルフラワー)ジャスミンが学校で販売されます。みんなが買って(買わされて?)お母さんに渡しました。花束や小さい植木鉢にかわいくアレンジするものもあります。本物の花を使うこともあります。本物のジャスミンを使う場合、針と糸を使って、ジャスミンと他の花を一つずつつなぎ合わせて、「プアンマーライ พวงมาลัย」というリースのような花の輪を作ります。プアンマーライは母に渡すだけでなく、客をもてなす時や目上の人にお祝いする・感謝も気持ちを表す時、仏像・仏壇に供える時にも使われています。細かいものは芸術品と言っていいくらいきれいです。

言葉の意味 プアン พวง つなぎ合わせたもの
マーライ มาลัย 花

元々は、本物の花をわたすことが主流でしたが、長持ちやコストの面でアーティフィシャルフラワーが主流になりました。その後、ソーパークービングや香り付き粘土で作られたジャスミンもかなり人気です。長持ちして、香りがよくて、インテリアにもなります。タイからのお土産にすれば、香りを感じるたびに、タイの旅を思い出すでしょう。



出典: www.facebook.com/banwassana88

ジャスミンと他の花で作られた「プアンマーライ」

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換など、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができたらうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

香取市内の満開桜が
とてもきれいでした！



「いきいき山田鯉のぼりまつり」
初めて行きました！



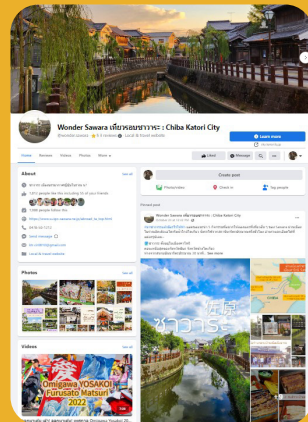
タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เก็บดวงรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～（フォローをしていたただけたらうれしいです！）



FBページ →
QRコード



または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索



プロタイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

